

令和 7 年度海外研修（台湾）研修報告

経済経営学部 3 年 長谷部祐斗

8月17日から31日までの約2週間の滞在期間の間、30時間の語学講義を受講しながら、台湾独自の文化を体験したり、台湾のお寺や博物館など、様々な観光地を巡ってまいりました。

開南大学は台湾の首都である台北から電車で一時間ほどの距離にある桃園市に位置しています。ちょうど桃園国際空港から車で30分ほどの距離です。

今回の研修には開南大学の姉妹校から本学を含めて計68名の参加者が日本全国から来ておりました。参加者はそれぞれ少人数の班に分かれ、その班ごとに開南大学で日本語を学ぶ学生さんたちがチューターとして常にサポートに付き、授業で分からないことがあれば質問したり、自由行動の時間には観光地までの引率を担当してくれました。開南大学の学生寮に宿泊しましたので、昼夜問わずチューターの方々にサポートしていただきました。

私自身、海外を訪れるのが初めてで、学校生活や文化の違いなど、馴染めるかどうか不安と緊張を抱いてました。しかし、街ゆく人や先生方、チューターの方も含め、優しく愉快で心温かい方たちばかりでしたので、私もすぐに台湾での生活や文化に馴染むことができました。

研修初日、午前中には早速開会式と歓迎会が開かれました。歓迎会では、台湾のスイーツや餃子などをおいしく頂きながら、チューター、他に参加している日本人学生と交流しました。その日の午後から早速中国語・英語のクラスにそれぞれ分かれて、授業がスタートしました。

今回は中国語 A クラス、B クラス、C クラス、英語クラスの計 4 クラスに分かれて授業が行われ、私は英語クラスに所属しました。英語クラスでは、主に会話やリスニングを中心とした授業が行われ、実際に英語を用いて自己紹介やディスカッションを行う機会が多く設けられていました。また、文法や語彙の復習、さらには台湾の歴史や文化を英語で学び、実践的な英語力が求められる内容でした。同じクラスに参加していた日本人学生とのグループワークでは、台湾の文化や考え方に触れ、異文化理解の大切さを実感しました。

最後に行われた成果発表では、全体で10グループに別れ、それぞれ中国語や英語での歌やダンス、劇が披露されました。私は5名のグループで成果発表会に臨み、台湾と日本の食文化について発表しました。日本と異なり、台湾では普段自炊することは珍しく、屋台

や専門店で外食する文化が一般的でした。また、味付けも日本とは異なり、八角や五香粉、にんにくなどを用いた、より香り豊かで濃い味付けが多い印象を受けました。

文化体験・観光では、縁結びで有名なお寺を訪れ、参拝・祈願の体験をして来たり、ランドマークとされている中正紀念堂を訪れたりしました。その際、衛兵交代を見学することもできました。複雑な動きでもびったり揃っている行進にはとても圧倒されました。建物全体に細かい模様が施され、均等に積み重ねられており、その技術の高さに目を奪われました。

また、国立故宮博物院を訪れ、広大な敷地の中で様々な展示を見て回り、中国の歴史について学んできました。故宮博物院で最も有名と言われている翡翠の自然の色味を生かして作り上げられた「翠玉白菜」の子孫繁栄を願ったと言われるキリギリスとイナゴの2種類の虫の装飾もじっくり観察することができました。滅多に見られない経験をすることができました。

台湾の食文化として、パイナップルケーキ、ビーフン、スープ作りを体験しました。パイナップルケーキ作りでは、生地の中にパイナップル餡を詰め、型にはめて形を整えました。焼き上がる間、パイナップルケーキの歴史について学びました。自分で作ったパイナップルケーキは焼きたてということも相まって、とても美味しく感じられました。

ビーフンとスープ作りは、開南大学内の調理室で行われました。日本人学生とチューターで班を作り、調理師の方の説明を聞きながら、協力して作りました。自分たちで作ったため、達成感も感じつつ、台湾の伝統的な食べ物の味や作り方を学ぶことができ、とても貴重な体験となりました。

学外での活動日には、十分と九份と呼ばれる町も訪れ、十分では、大きなランタンに願い事を書いて空に飛ばしました。九份では、古き良き時代の面影を残す街並みの美しさに加え、石畳の道を歩きながら現地の茶屋に入り、お茶を味わう時間がとても穏やかで、まるで時間がゆっくりと流れているように感じました。

また、その他にも、台北 101 と呼ばれるランドマークタワーへ行き、101 階建ての展望エリアに上って台北市内を一望しました。実際に高い建物がびっしりと密集している様子や山々に囲まれている風景など、台湾の風土を感じることができました。お昼は、台北市内の「金品小籠包」という小籠包専門店に行きました。様々な種類の小籠包は自分にとって珍しいもので、とても美味しかったです。

研修は語学講座、観光、文化体験が二週間に詰まっており、いざ終わってみると、あっ

という間だったな、と感じますが、非常に濃密な時間を過ごすことが出来ました。多くの刺激を得ることが出来、また台湾についての学びをより深めることができました。

この研修で得た学びは、今後の人生においても大きな糧となると思います。異なる文化や価値観に出会った時、それを拒むのではなく、理解し、尊重する姿勢を常に持ち続けたいと思います。最後になりますが、今回の海外研修の実施にあたりまして、サポートいただきました全ての皆様に改めまして感謝申し上げます。